

## 令和7年度 第1回春日井市健康施策等推進協議会議事録

- 1 開催日時 令和7年11月17日（月）午後2時から午後3時まで
- 2 開催場所 春日井市役所10階 1004・1005会議室
- 3 出席者
  - 【会長】 中部大学教授 北浦靖之
  - 【副会長】 春日井市医師会副会長 高木健太郎
  - 【委員】 愛知県立大学准教授 青柳美樹  
春日井市歯科医師会副会長 中田幸成  
春日井市食生活改善協議会会長 飯塚富恵  
春日井市小中学校長会春日井市立知多中学校校長 原田宗敏  
春日井市私立幼稚園協議会会長 神戸満  
公募委員 芝垣正光  
春日井市健康マイスターボランティアの会副会長 浦野務  
春日井市手をつなぐ育成会副会長 関芳子  
春日井市老人クラブ連合会会計 高崎眞弓  
春日井商工会議所理事・事務局長 白木芳洋
  - 【事務局】 健康福祉部長 神戸洋史  
健康増進課長補佐 野口健太  
同課長補佐 川口良子  
同課主査 橋口祥代  
同課主査 犬飼淳司  
同課主査 梶田裕倫子  
同課主査 山中寿香  
同課主任 臼井小百合  
同課主事 小林千花
  - 【傍聴者】 1名

#### 4 議題

- (1) 心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について
- (2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について
- (3) 令和7年度の産学官連携実証事業の実施状況について
  - ア デジタル食事改善プログラムについて
  - イ 「社会保障費の抑制をめざす」共同研究プロジェクトについて
  - ウ 肥満症対策事業について

#### 5 会議資料

- 資料1 「心と体のかすがい健康計画 2035」の推進状況の概要について
- 資料2 「心と体のかすがい健康計画 2035」施策実施状況一覧
- 資料3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について
- 資料4 デジタル食事改善プログラムについて
- 資料5 「社会保障費の抑制をめざす」共同研究プロジェクトについて
- 資料6 肥満症対策事業について

#### 6 議事内容

議事に先立ち、委員改選に伴う各委員の自己紹介及び会長と副会長の選出を行った。中田委員の推薦により北浦委員を会長に、高木委員を副会長に選出した。

その後、会議公開の説明を行い、議事録の署名は、議長及び議長が指名する委員（飯塚委員）となった。

##### 議題(1) 心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について

###### 【北浦会長】

それでは、議題(1)心と体のかすがい健康計画 2035 の推進状況について、事務局から説明をお願いします。

###### 【事務局 梶田主査】

資料1、2に基づき説明

###### 【北浦会長】

議題(1)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問等がございますか。

**【芝垣委員】**

資料1の1頁、自殺死亡率に関しまして、春日井市の子どもの自殺死亡件数を教えてください。いじめ等で子どもが自殺してしまうのは大きな問題だと思うので、春日井市でも子どもの自殺があったのであれば、より重点的に対策を考えていく必要があると思います。

資料1の2頁、健康寿命について、全国に比べ、愛知県の数値が高くなっていますが、何か考えられる理由等は把握していますでしょうか。

資料1の4頁、休養・睡眠の主な取組み実績について、健康づくり出前講座の実施回数が5回となっておりますが、5回の内、何回程度休養・睡眠についての講座を実施しているのでしょうか。

**【事務局 野口補佐】**

1点目の春日井市の自殺死亡件数につきましては年齢階層別で把握しており、令和6年度は44名中、子どもを含む20歳未満が1名となっております。

2点目の健康寿命のご質問ですが、愛知県の数値が全国と比較して高い理由については特定が難しく、把握できておりません。厚生労働省の資料によりますと、相対的に評価していくのがよいのではないかと記載もありました。

3点目につきましては、休養・睡眠に特化したものではありませんが、中学生向けにスマホ依存の講座を行い、その中でスマホ依存は休養・睡眠に影響があるという内容を盛り込んで講座を行っております。

**【浦野委員】**

資料1の2頁、健康寿命につきまして、春日井市の数値は全国や愛知県と算出方法が異なるとのことですが、比較対象にならないため、算出方法を同じにした方がいいと思います。

また、様々な取り組みをしていますが、9月に開催される健康救急フェスティバルをうまく活用して、啓発を進めていくのがいいのではないのでしょうか。例えば禁煙の周知啓発を行っているブースもありましたので、市が様々な団体と協力して啓発を行うのがよいと思います。

**【中田委員】**

健康寿命につきまして、春日井市ではアンケートではなく、要介護認定者数を用いて算出を行っておりますが、要介護2以上の認定者数ではなく、要介護1以上の認定者数を使用すれば、全国や愛知県と数値の乖離がなくなるのではないのでしょうか。

【事務局 野口補佐】

健康寿命の算出方法につきまして、春日井市独自の方法で算出を行っているわけではなく、厚生労働省の健康寿命の算定方法の指針に基づいて算出を行っております。指針には、要介護1を不健康な状態に含めず、要介護2以上の認定者数を使用することとされているため、現在はそのように算出を行っております。今後、参考として要介護1を含めた認定者数での算出をできるようであれば検討してまいります。

また、ご意見くださいました健康救急フェスティバルを活用し、各種啓発を進めてまいりたいと思います。

【浦野委員】

健康寿命について、豊田市も春日井市と同様の算出方法をしているようです。他の市町村もやっていただくと分かりやすいと思います。

【北浦会長】

ありがとうございました。

他に御意見はないようですので、議題(1)についてはこれで終わります。

## 議題(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について

【北浦会長】

次に、議題(2)高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、事務局から説明をお願いします。

【事務局 橋口主査】

資料3に基づき説明

【北浦会長】

議題(2)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問等がございますか。

【青柳委員】

ポピュレーションアプローチのフレフレ！フレイル予防教室につきまして、高齢者サロンや商業施設等にて開催すると記載がありますが、裏面には病院名の記載がされているため、対象者は主に病院受診者ということでしょうか。

【事務局 橋口主査】

資料3裏面に地図を記載しておりますが、春日井市から地図に記載の病院に事業を委託しており、各病院の医療専門職が高齢者サロンや老人クラブ等に訪問し、

事業を行っていただいております。

【青柳委員】

実施回数の実績はどのくらいでしょうか。

【事務局 橋口主査】

昨年度は9地区で68回、累計で119回実施しており、継続的に実施したいサロンでは複数回実施しております。

また、団体さんの意向を伺いながら進めておりますので、全部の団体で実施することが難しいですが、今後も少しずつ実施回数を増やしていきたいと思っております。

【芝垣委員】

4のハイリスクアプローチの実績で、重症化予防で糖尿病性腎症等の方を把握するのに、医師会の先生方から協力を得ているのか、市保健師が地域に入って把握をしているのか、どのように把握しているのでしょうか。

【事務局 橋口主査】

市で、介護や健診、医療のレセプトに関するデータを見ることができるシステムを保有しておりますので、そちらで対象者の抽出及びリストアップを行い、訪問にて状況を伺いながら、必要に応じて受診や健診を案内しております。

医師会の先生方や歯科医師会の先生方には、事業で先生の医院を案内するので健診等をお願いしたいという形で連携を取っております。

【北浦会長】

ありがとうございました。

他に御意見はないようですので、議題(2)についてはこれで終わります。

### 議題(3) 令和7年度の産学官連携実証事業の実施状況について

【北浦会長】

次に、議題(3)令和7年度の産学官連携実証事業の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

【事務局 野口補佐】

資料4に基づきア デジタル食事改善プログラムについて説明

【事務局 橋口主査】

資料5に基づきイ「社会保障費の抑制をめざす」共同研究プロジェクトについて説明。

【事務局 山中主査】

資料6に基づきウ 肥満症対策事業について説明。

【北浦会長】

議題(3)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問等がございますか。

【芝垣委員】

資料4につきまして、認知機能の一部改善とありますが、どのようなテストを行ったのか教えてください。また、3か月だけでなく今後も継続をしていくのが良いと思います。

【事務局 野口補佐】

資料4の下部に記載している認知機能指標の前後比較が、認知機能の一部改善結果を示しております。この結果は、カード等を使い、反応速度や絵柄の記憶力などをテストしたもので、測定の結果、有意に改善しております。

事業期間は5年で、その間に社会実装をめざしております。今回報告したものは、プロトタイプのようなもので、3か月という短い期間で行っております。今回の結果をもって一定の有効性があることが示されたため、今回の結果を踏まえて、プログラムをもう少し良いものにできないか見直しをしているところです。

【北浦会長】

ありがとうございました。

他に御意見はないようですので、議題(3)についてはこれで終わります。

これで本日の議題は全て終了といたします。御協力ありがとうございました。

上記のとおり、令和7年度 第1回春日井市健康施策等推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及びあらかじめ指定する委員1名が署名する。

令和 8年 1月 16日

会 長 北浦 靖之

署名人 飯塚 富恵